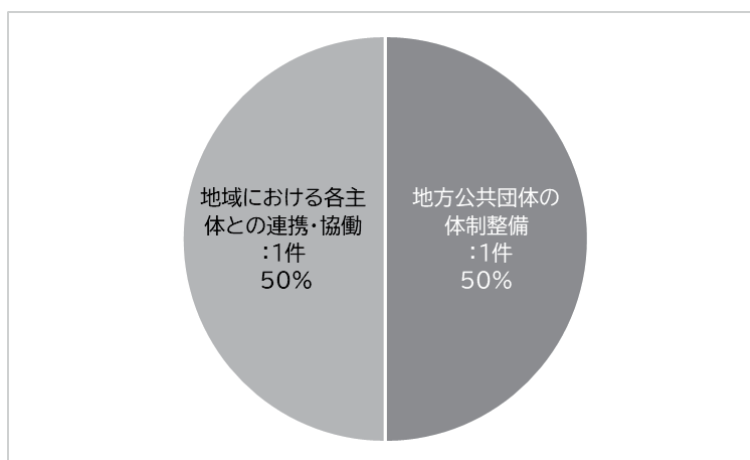


「(1)すでに取り組んでいる」と回答した市町村の内、具体的に取り組んでいる項目は以下である。(複数回答可)



(n=1)

「地方公共団体の体制整備」と「地域における各主体との連携・協働」が同率で 50.0% (1件) であった。

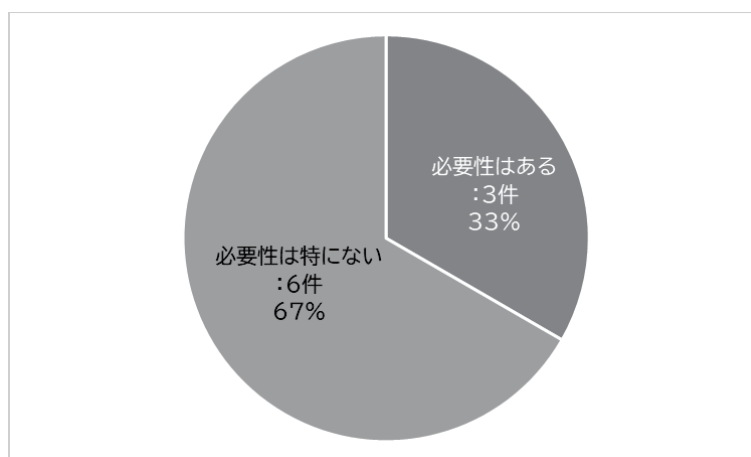
<具体的現状や課題等> は以下である。(記述)

- ・ 現状としては、市役所内で外国人関連の行政手続きに何かトラブル等があれば、関係部署または当該外国人から当課まで連絡が来て通訳者を派遣するという特に言語面でのサポートを行う体制を既に構築している。また、県・NPO 団体・企業等の外国人支援を行う各種団体と連携して、多文化共生イベントを不定期で行っている。課題としては、連携する団体の輪が限定的になりつつあること等が挙げられる。その輪をさらに広げ、情報交換の場を増やしたり、支援者間の繋がりを強化する等の対策が必要であると考えている。
- ・ 多文化共生施策について、庁内関係部署で横断的な取り組みがすすめられるように、まずは分野を絞って(防災・教育・医療・介護など)個別に意見交換を行っていききたい。

(2)「これから取り組む予定(検討中)」と回答した市町村からあがった<具体的現状や課題等> は以下である。(記述)

- ・ 多文化共生施策について、庁内関係部署で横断的な取り組みがすすめられるように、まずは分野を絞って(防災・教育・医療・介護など)個別に意見交換を行っていききたい。
- ・ 予算や人員配置の確保が難しい。
- ・ 那覇市は協働によるまちづくりを推進しているが在留外国人との具体的な取組はこれからである。
- ・ 国際交流協会と連携し、在住外国人の意見・要望の聞き取りやそれに対する対応を行い、行政と在住外国人の間の不透明性をなくすことを目指す。

「(3)取り組む予定はない」と回答した市町村の内、多文化共生への取り組みの必要性に関する回答は以下である。(1つに〇)



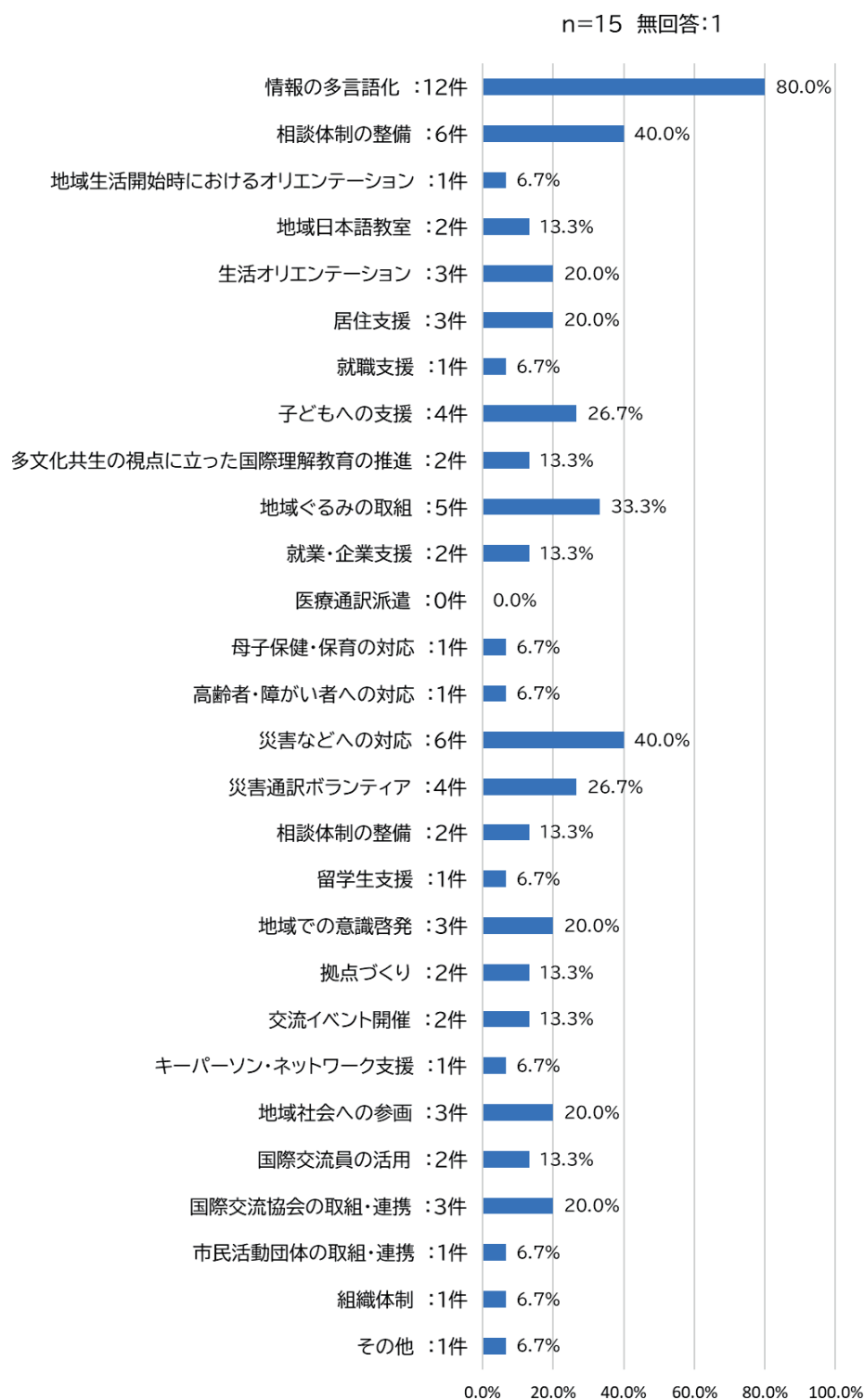
(n=9 無回答1)

「必要性は特にない」が67.0%（6件）で最も高く、次いで「必要性はある」が33.0%（3件）、であった。

<具体的現状や課題等>は以下である。(記述)

- ・ 年々増える国や県の方針により公務を圧迫しており、取り組める状況にないのが実情。
- ・ 在住外国人は少なく、比較的、地域の人との関わりがあると感じているため、現時点では必要性はないと考える。

Q3 他の自治体等と情報交換・情報共有ができる場があったとしたら、どのような情報を望みますか。(複数選択可)



「情報の多言語化」が80.0%（12件）で最も高く、次いで「相談体制の整備」と「災害などへの対応」が同率で40.0%（6件）であった。

Q4 在住外国人への対応、国際交流、多文化共生に関するストーリー(事例)、課題、ご意見等、お聞かせください。

那覇市

- ・ 在留外国人の日常生活での困りごと等の把握。(市内在留者へのアンケートを実施した)
- ・ 共生社会の周知が庁舎内や関係機関、地域で必要。
- ・ 在留外国人に日本のしくみ(法令、風習等)の情報提供を増やすことが必要。
- ・ 外国人や支援団体等のネットワークが望まれる。

浦添市

(国際交流員の業務より)

- ・ SOFA(日米地位協定)に基づき在住する外国人への対応について、案内が難しいケースが多い。
- ・ 日本の行政手続に苦手意識をもつ外国人は多い。内容を理解してもらうために丁寧な説明が求められる。
- ・ 外国に比べて雇用・求職の情報が少ないため案内に苦慮する。
- ・ 無料の日本語教室があれば外国人も利用しやすい。

(その他)

- ・ 多文化共生施策の推進にあたり、地域のニーズや実情を把握することが前提となると思いますが、担当として、その方法や取り組みなど具体的に知りたいです。
- ・ 多文化共生アドバイザーの活用方法について知りたい。

恩納村

- ・ 本村では沖縄科学技術大学院大学(OIST)やリゾートホテル従業員などの在住外国人がいるが、組織単位なので基本的に通訳がついていたり、組織内でのサポートがあるため、これまで行政は多文化共生の体制を整えてこなかった。しかしながらその他の在住外国人もいるため、全ての方に市民サービスが行き届くような組織体制作りが必要だと感じる。

宜野座村

- ・ 年々人口は微増しているが在住外国人の数は多くないため、現段階での多文化共生に係る取り組みの予定はない。今後人口の増加により情報の多言語化が必要になる可能性がある。

宜野湾市

- ・ 多文化共生の分野では、外国人支援に関する特定の法律は無く、支援者が自身で研修やインターネット等を通して得た知識を基に支援策を企画・立案することが求められる。その中で頼りになるのが、支援者間の繋がりだと実感している。外国人支援の先進地である群馬県や静岡県に比べて沖縄県はまだ多文化共生意識が低いと考えられるが、入管法改正により在住外国人が増加すると見込まれている昨今、支援者間の繋がりをより強くすることは非常に重要であり、支援者の輪の広がりが県内における多文化共生意識のさらなる醸成にも寄与すると考える。定期的に支援者が集まり、気軽に情報交換できる場があればいいと切に願う。

名護市

- ・ 名護市では近年在住外国人が増加しており、それに伴い課題や問題点も少しずつ浮き彫りになっています。また、コロナ感染拡大が重なったこともあり在住外国人と市民との交流の機会が制限されている現状から、外国人の声を聴くことも難しい状況です。その中で、外国人のコミュニティーリーダーや長く名護市に住んでいる外国人の協力を得て、新年度より外国人連絡会を行う予定です。これにより外国人の声を行政に届け、また外国人が社会で活躍できる機会を創り出すサポートができるよう取り組んでいきたいと思えます。

金武町

- ・ 現状として窓口対応の際に英語が必要となり対応できる職員が呼び出されることもあるが、年間件数として多くなく、また対応できている範囲なので特に必要性はないと考える。

北中城村

- ・ 各種支援の必要性はあると認識しているが、取り組むにあたっての知識・経験等が不足しており実行しかねている。他市町村の事例を参考にできればと思っています。

多良間村

- ・ 多文化共生という事で住みよい島を目指す事は大事だと思います。現時点で、どのような対応が必要になるのか明確になっておりません。現在、人権の相談があった場合、法務省人権擁護局作成のパンフレット設置で対応できるような設置は行っている。

与那原町

- ・ 与那原町海外友好親善大使人材育成事業として、毎年 2 名を海外移住者の子弟を研修生として受け入れている。今年度は新型コロナウイルスのため中止となった。
- ・ 対話式音声翻訳機ポケットークを3台、災害対策用として調達した。平時においては、外国籍住民の来客時対応として住民課などに配置している。

巻末資料

沖縄県在住外国人アンケート調査表

(日本語)

沖縄県在住外国人アンケート調査

～沖縄に住む 外国人のみなさんへ～

沖縄県は「外国人」「日本人」がともに「沖縄に暮らしてよかった」と 思える暮らしを 目指す

ための 調査をしています。コロナ感染が広がる中、みなさん いかがお過ごしてでしょうか。

「大変なこと」「心配なこと」そして「嬉しいこと」・・・色々あると思います。どうか これから「沖縄」

のために聞かせてください。あなた個人の情報が 外部に出たり、回答によって あなたが困っ

たりすることはありません。ご協力をお願いいたします。

2021年2月9日

調査票へのご記入にあたって

ていしゅつきげん がつ にち
提出期限 3月 5日

◆あなたご自身の ことについて お答えください。

◆あてはまる番号を ○で囲んでください。/あてはまる番号を してください

◆「その他」を お選びの方は、その内容を ()内に お書きください。



◆このアンケートは Googleフォームから 回答することができます。

◆Googleフォームから 回答する場合は、右のQRコードを 読み取って下さい。

◆回答用紙は 返信用封筒にいれて ポストに投函するか、回収ボックスに 入れてください。

●この調査の内容についての お問い合わせ



受託団体：NPO法人 沖縄NGOセンター / 株式会社沖縄コングレ

TEL:098-892-4758 E-mail:onc@oki-ngo.org

はじめにあなた（回答者）自身のことについてお尋ねします。

F1	性別 (ひとつだけ○)	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> その他 (ほか) <input type="checkbox"/> 回答しない
F2	年齢 (ひとつだけ○)	<input type="checkbox"/> ~19歳 <input type="checkbox"/> 20~29歳 <input type="checkbox"/> 30~39歳 <input type="checkbox"/> 40~49歳 <input type="checkbox"/> 50~59歳 <input type="checkbox"/> 60~69歳 <input type="checkbox"/> 70歳以上
F3	現在住んでいる所	({ 市・町・村 })
F4	国籍	
F5	母語	
F6	一緒に暮らしている人	1. いない 2. パートナー/配偶者 3. 子ども (人) 4. 父親・母親 5. 祖父母 6. その他()
Q1	どのくらい、住んでいますか。 (ひとつだけ○)	1. 6ヶ月未満 2. 6ヶ月以上~1年未満 3. 1年以上~2年未満 4. 2年以上~3年未満 5. 3年以上~5年未満 6. 5年以上~10年未満 7. 10年以上
Q2	どうして沖縄(日本)に来ましたか。 (○はいくつでも可)	1. 日本で生まれた 2. 働くため 3. 職業技能の取得 4. 大学・大学院・専門学校への入学 5. 日本語の勉強 6. 戦争など母国の政情不安 7. 家族の都合 (結婚、親戚) 8. ワーキングホリデー 9. その他 ()

にほんご
日本語について

Q3	にほんご かいわ ていど 日本語での会話ほどの程度 できますか。 (ひとつだけ○)	かいわ 1. 会話できる Q3-1 へ 2. あいさつができる Q3-2 へ 3. できない Q3-2 へ
----	--	--

(かいわのうりよく えら かた たず
→Q3の[会話能力]で1を選んだ方にお尋ねします。

Q3-1	にほんご まな 日本語をどこで学びました か。 (○はいくつでも可)	ほこく らいにちご にほんごがっこう 1. 母国で 2. 来日後、日本語学校で らいにちご かいしゃ けんしゅう らいにちご だいがく こうこう 3. 来日後、会社の研修で 4. 来日後、大学・高校で らいにちご どくがく らいにちご ちいき にほんごきょうしつ 5. 来日後、独学で 6. 来日後、地域の日本語教室で らいにちご おんらいんきょうしつ 7. 来日後、オンライン教室で ほか 8. その他 ()
------	---	---

(かいわのうりよく えら かた たず
→Q3の[会話能力]で2～3を選んだ方にお尋ねします。

Q3-2	にほんご まな 日本語をどのようにして学び たいですか。 (○はいくつでも可)	にほんごがっこう かよう 1. 日本語学校に通う ちいき にほんごきょうしつ かよう 2. 地域の日本語教室に通う おんらいんきょうしつ まな 3. オンライン教室で学ぶ にほんじん ちじん ゆうじんなど おし こじんれっすん 4. 日本人の知人、友人等に教えてもらう、個人レッスン どくがく 5. 独学で まな ほうほう がっこう 6. 学びたいがその方法がわからない、学校がない まな おも 7. 学びたいとは思わない りゆう (理由:)
------	--	---

Q4	にほんご よ か 日本語での読み書きほどの ていど 程度できますか。 (ひとつだけ○)	かたかな かんじ 1. ひらがな・カタカナ・漢字ができる かたかな 2. ひらがな・カタカナができる 3. できない ほか 4. その他 ()
----	---	--

<p>Q5</p> <p>日常生活での悩みや 心配事は何ですか。 (○はいくつでも可)</p>		<p>1. 言葉が通じない</p> <p>2. 日本の友人ができてにくい</p> <p>3. 同じ国の友人ができてにくい</p> <p>4. 母語で書かれた情報が少ない</p> <p>5. 病気やケガをした時の対応</p> <p>6. 地震等の大災害が起きた場合の対応</p> <p>7. 育児や子どもの教育</p> <p>8. 公共交通機関を利用する場合の対応</p> <p>9. 住まい</p> <p>10. 文化や習慣の違い</p> <p>11. 就職が困難</p> <p>12. ゴミ出し等における近所とのトラブル</p> <p>13. 自動車運転免許を取る</p> <p>14. 家族の介護</p> <p>15. 経済的(お金)に困っている</p> <p>16. 悩みや心配事はない</p> <p>17. その他 ()</p>
<p>Q6</p> <p>あなたは、生活の中で、外国人に対する偏見や差別を感じたことがありますか。(ひとつだけ○)</p>		<p>1. ない</p> <p>2. ある (具体的に教えてください)</p>
<p>Q7</p> <p>困ったときに、よく相談する人はだれですか。 (○はいくつでも可)</p>		<p>1. 家族・親類</p> <p>2. 母国にいる家族、親戚</p> <p>3. 職場や学校の担当者</p> <p>4. 日本人の知人・友人・先輩</p> <p>5. 日本人以外の知人・友人・先輩</p> <p>6. 役所等の公的機関の相談窓口</p> <p>7. NPOなどのボランティア団体</p> <p>8. 沖縄県国際交流・人材育成財団の相談窓口</p> <p>9. 宗教施設(教会、寺院、モスク等)</p> <p>10. 相談する人がいない</p> <p>11. その他 ()</p>
<p>Q8</p> <p>日常生活の情報をよく入手するのはどこからですか。 (○はいくつでも可)</p>		<p>1. 行政の窓口</p> <p>2. 役所からの広報誌</p> <p>3. テレビ、ラジオ</p> <p>4. 日本語の新聞、情報誌</p> <p>5. 日本語以外の新聞、情報誌</p> <p>6. インターネット・SNS</p> <p>7. 宗教施設(教会、寺院、モスク等)</p> <p>8. NPOなどのボランティア団体</p> <p>9. 家族や親戚、友人、先輩</p> <p>10. 自治会等地域の人々</p> <p>11. その他 ()</p>

医療・保健などについて

Q9	病気やケガをしたとき 困ったことは何ですか。 (○はいくつでも可)	1. どの病院に行けばいいかわからない 2. 診察時に医師との間でコミュニケーションがうまくとれない 3. 医療費が高い 4. 治療を受けたことがない 5. その他 ()
Q10	どのような医療サービスのをぞみますか。 (○はいくつでも可)	1. 病院等での母語の通訳・表記 2. 母語での対応可能な病院等の情報 3. 保険制度の説明 4. 特に望むことはない 5. その他 ()
Q11	あなたは、次の健康保険または年金制度に加入していますか。 (○はいくつでも可)	1. 国民健康保険に入っている 2. 職場の健康保険に入っている 3. それ以外の保険に入っている 4. 国民年金 5. 職場の厚生年金 6. 家族の扶養に入っている 7. 入っていない
Q12	あなたは健康診断を受けたことがありますか。 (ひとつだけ○)	1. 受けたことがある 2. 知っているが受けたことはない 3. あることを知らない 4. 受けたとは思わない (理由：)

子育て・子どもの教育について

Q13	あなたには子どもがいますか。 (ひとつだけ○)	1. いる →Q13-1 or Q13-2へ 2. いない →Q14へ
-----	----------------------------	--

	→Q13で「1 いる」と答えた方で、6歳未満のお子さんがある方にお尋ねします。	
Q13-1	あなたが6歳未満のお子さんを育てる上で困っている（または困っていた）ことは何ですか。 (○はいくつでも可)	1. 周囲に子育てを相談できる人がいない、相談場所がわからない 2. 子どもを預けるところがない 3. 育児に関する情報が入らない、または入っても日本語のため理解できない 4. 妻・夫や祖父母と子育て方針が食い違う 5. 子どもの遊ぶところがない 6. ママ・パパ友同士の付き合いが難しい 7. 先生とのコミュニケーションが難しい 8. 特にな 9. その他 ()

	→Q13で「1 いる」と答えた方で、6歳以上のお子さんがいる方にお尋ねします。	
Q13-2	<p>子どもの教育に関して心配なことはありますか（ありましたか）。（○はいくつでも可）</p>	<p>1. 日本語ができない（できなかった） 2. 学校に通っていない 3. 授業についていけない 4. いじめられる 5. 学校からのお知らせが理解できない 6. 友だちができない 7. 今後の進学が不安 8. 教育費が高い 9. 母語や母国の文化が学べない 10. 保護者同士のコミュニケーション 11. 学校の規則が理解できない 12. 進学の方法や制度 13. 学校からのお知らせ（通知）が読めない 14. 先生とのコミュニケーションが難しい 15. 特にな 16. その他（</p>

仕事について

Q14	<p>あなたは仕事をしていますか。（ひとつだけ○）</p>	<p>1. 正社員として働いている →Q14-1 へ 2. 派遣社員として働いている →Q14-1 へ 3. パート、アルバイトをしている →Q14-1 へ 4. 技能実習生である →Q14-1 へ 5. 語学講師（学校・プライベートレッスン） →Q14-1 へ 6. 自営業をしている →Q14-1 へ 7. 仕事をしていない →Q15-1 へ 8. 休職中・仕事をしていたが、やめた →Q15-1 へ (やめた理由：)</p>
-----	-------------------------------	---

	→Q14で1～6を選んだ（仕事をしている）方にお尋ねします。	
Q14-1	<p>その仕事はどうやって見つけましたか。（○はいくつでも可）</p>	<p>1. 新聞やインターネットなどの広告 2. ハローワークの紹介 3. 友人からの紹介 4. 親戚・親族からの紹介 5. 前の職場からの紹介 6. その他（</p>

Q14-2	<p>仕事<small>しごと</small>において困<small>こま</small>っていることはありますか。</p> <p>(○はいくつでも可<small>か</small>)</p>	<p>1. 賃金<small>ちんぎん</small>が安い<small>やすい</small></p> <p>2. 残業<small>ざんぎょう</small>が多い<small>おほ</small></p> <p>3. 差別<small>さべつ</small>を受けることがある</p> <p>4. 働く習慣<small>はたら しゅうかん</small>・考え方<small>かんが</small>のちがいがいい</p> <p>5. 日本語<small>にほんご</small>の理解<small>りかい</small>が足りない</p> <p>6. 自分<small>じぶん</small>の能力<small>のりよく</small>・技術<small>ぎじゆつ</small>を生かした仕事<small>しごと</small>につきたいけどつけない</p> <p>7. 職場<small>しよくば</small>の人間関係<small>にんげんかんけい</small>がうまくいかない</p> <p>8. 困った<small>こま</small>ときに相談<small>そうだん</small>する所<small>ところ</small>がない</p> <p>9. 特<small>とく</small>にない</p> <p>10. その他<small>ほか</small> ()</p>
-------	--	--

ちいしましやかい す ひと こうりゆう
地域社会（住んでいるところの人）との交流について

Q15	<p>あなた<small>さんか</small>が参加<small>か</small>したい地域<small>ちい</small>の活動<small>かつどう</small>はなんですか。</p> <p>(○はいくつでも可<small>か</small>)</p>	<p>1. 地域のイベント<small>ちい き いべんと まつ うんどうかい</small>など</p> <p>2. 地域の奉仕活動<small>ちい き ほうし かつどう</small>（清掃<small>せいそう</small>、子ども食堂<small>こどもしょくどう</small>、草刈り<small>くさか</small>等）</p> <p>3. 日本の文化<small>にほん ぶんか さどう</small>（茶道<small>にほんぶ</small>や日本舞踊<small>や</small>等）や</p> <p>4. 特<small>とく</small>になし</p> <p>5. その他<small>ほか</small> ()</p>
Q16	<p>あなた<small>まち</small>の町のためにあなたが出来る、やってみたいことはなんですか？</p> <p>(○はいくつでも可<small>か</small>)</p>	<p>1. 小学校<small>しょうがっこう</small>や中学校<small>ちゅうがっこう</small>で外国人児童<small>がいこくじん</small>の勉強<small>じどう</small>をサポートする</p> <p>2. 外国人住民<small>がいこくじんじゆうみん</small>に、役所<small>やくしょ</small>や病院<small>びやういん</small>の制度をわかりやすく説明<small>せつめい</small>する</p> <p>3. 外国<small>がいこく</small>からくる観光客<small>かんこうきゃく</small>のサポート<small>さほ</small>をする</p> <p>4. 地域<small>ちい</small>の方に母語<small>かた ぼご</small>や母国<small>ぼこく</small>の文化<small>ぶんか</small>を伝える</p> <p>5. 特<small>とく</small>になし</p> <p>6. その他<small>ほか</small> ()</p>

ぼうさい
防災について

Q17	<p>あなた<small>さいがい</small>は災害<small>さいがい</small>が起こったときの避難場所<small>ひなんばしょ</small>を知っていますか（ひとつだけ○）</p>	<p>1. 知<small>し</small>っている</p> <p>2. 知<small>し</small>らない</p>
Q18	<p>防災<small>ぼうさい</small>に関してどのようなこと<small>の</small>を望<small>のぞ</small>みますか。（○はいくつでも可<small>か</small>）</p>	<p>1. 母語<small>ぼご</small>による防災マップ<small>ぼうさいまっぷ</small>やグッズ<small>ぐっず</small>の配布<small>はいふ</small></p> <p>2. 地域<small>ちい</small>における防災訓練<small>ぼうさいくんれん</small>への参加<small>さんか</small></p> <p>3. 災害発生時の母国<small>さいがいはっせいじ ぼこく すみ</small>への速やかな安否連絡<small>あんびれんらく</small>等</p> <p>4. 災害発生時の外国人<small>さいがいはっせいじ がいこくじん</small>の避難誘導体制<small>ひなんゆうどうたいせい</small>の確保<small>かくほ</small></p> <p>5. 特<small>とく</small>に望む<small>のぞ</small>ことはない</p> <p>6. その他<small>ほか</small> ()</p>

新型^{しんがた}コロナウィルス (COVID-19) について

<p>Q19</p>	<p>新型^{しんがた}コロナウィルス感染症^の影響^{えいきょう}でどのようなこと^{ごま}に困^{こま}っていますか。 (○はいくつでも可^か)</p>	<p>1. 帰国^{きこく}できない 2. 収入^{しゅうにゅう}が減^へった 3. 仕事^{しごと}がなくな^{がっこう}った 4. 学校^{がっこう}や保育園^{ほいくえん}が休^{やす}み 5. 家賃^{やちん}や光熱費^{こうねつひなど}等^{はら}が払^{はら}えない 6. 支援^{しえん}の情報^{じょうほう}がわから^しない 7. 在留資格^{ざいりゅうしかく}のこと 8. 新型^{しんがた}コロナウィルスの予防^{よぼう}や、感染^{かんせん}したときの情報^{じょうほう}がわから^しない 9. コロナにかか^{ころな}った際^{さい}の差別^{さべつ}や偏見^{へんけん} 10. その他^{ほか} ()</p>
<p>Q20</p>	<p>新型^{しんがた}コロナウィルス感染症^に関^{かん}する情報^{じょうほう}収集^{しゅうしゅう}のために何^{なに}を利用^{りよう}していますか。(○はいくつでも可^か)</p>	<p>1. Facebook 2. LINE 3. WeChat 4. Whats App 5. Twitter 6. NHK World 7. TV 8. ラジオ 9. 新聞^{しんぶん} 10. 沖縄^{おきなわ}県^{けん}国際^{こくさい}交流^{こうりゅう}・人材^{じんざい}育成^{いくせい}財団^{ざいだん}の HP, Facebook 11. 県^{けん}や市役所^{しやくしよ}の HP 12. 人^{ひと}から情報^{じょうほう}を聞^かいている (家族^{かぞく}・同僚^{どうりょう}・友達^{ともだち}・職場^{しよくば}の上^{じょうし}司^し) 13. その他^{ほか} ()</p>
<p>Q21</p>	<p>新型^{しんがた}コロナウィルス感染症^に関^{かん}するど^{じょうほう}のような情報^{ひつよう}が必要^{ひつよう}ですか。 (○はいくつでも可^か)</p>	<p>1. 感染^{かんせん}症^{しやう}予防^{よぼう}関^{かん}連^{れん} (県^{けん}内^{ない}の感^{かん}染^{せん}者^{しや}の状^{じやう}況^{きやう}など) 2. 出^{しゅつ}入^{にゅう}国^{こく}関^{かん}連^{れん} (在^{ざい}留^{りゅう}資^{しかく}格^{かく}のこ^{ごと}など) 3. 労^{ろう}働^{どう}関^{かん}連^{れん} (就^{しゅう}職^{しやく}支^し援^{えん}、仕^し事^{ごと}の相^{そう}談^{だん}など) 4. 教^{きょう}育^{いく}関^{かん}連^{れん} (学^{がっこう}校^{こう}のこ^{ごと}) 5. 食^{しょく}料^{りょう}に^{かん}関^{かん}するサ^さポ^ぽー^と (フ^ふー^どバ^ぱン^んク^くや寄^き付^ふ等^な) 6. お金^{かね}に^{かん}関^{かん}する支^し援^{えん} (貸^か付^{つけ}・給^{きゅう}付^ふ・補^ほ助^{じょ}等^な) 7. その他^{ほか} ()</p>

さいごにあなたが伝えたいこと

Q22	<p>あなたは行政にどのようなことを望みますか。 (○はいくつでも可)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公共施設等における外国語の表記 2. 母語による相談窓口の設置 3. 生活ガイドブックなど母国語による行政サービス情報の提供 4. 日本語学習への支援 5. 子どもの日本語学習への支援 6. 地域の人々と交流する機会の提供 7. 医療通訳ボランティア制度 8. 就職に関する相談等 9. 犯罪や防犯対策についての情報 10. ごみ情報の多言語表記 11. 特にない 12. その他 ()
Q23	<p>あなたはずっと沖縄に住みたいですか。(ひとつだけ○)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ずっと住みたい →Q23-1 へ 2. そうは思わない →Q23-2 へ

<p>→Q23 で「1 ずっと住みたい」と答えた方にお尋ねします</p>				
Q23-1	<p>それはどのような理由からですか。 (○はいくつでも可)</p>	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 親戚がいる 3. 友達など親しい人がいる 5. 人が親切・人が好き 7. 家族や子育ての環境を考えて 9. その他 () </td> <td style="width: 50%; border: none; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 2. 住みやすい自然環境・気候 4. 仕事がある 6. 沖縄が好き 8. 治安が良い </td> </tr> </table>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 親戚がいる 3. 友達など親しい人がいる 5. 人が親切・人が好き 7. 家族や子育ての環境を考えて 9. その他 () 	<ol style="list-style-type: none"> 2. 住みやすい自然環境・気候 4. 仕事がある 6. 沖縄が好き 8. 治安が良い
<ol style="list-style-type: none"> 1. 親戚がいる 3. 友達など親しい人がいる 5. 人が親切・人が好き 7. 家族や子育ての環境を考えて 9. その他 () 	<ol style="list-style-type: none"> 2. 住みやすい自然環境・気候 4. 仕事がある 6. 沖縄が好き 8. 治安が良い 			
<p>→Q23 で「2 そうは思わない」と答えた方にお尋ねします</p>				
Q23-2	<p>それはどのような理由からですか。 (○はいくつでも可)</p>	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 住みにくい自然環境・気候 3. いい仕事がない 5. 沖縄が嫌いだから 7. 母国の家族と暮らしたい 8. その他 () </td> <td style="width: 50%; border: none; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 2. 友達など親しい人がいない 4. 人となじめない 6. 家族や子育ての環境を考えて </td> </tr> </table>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 住みにくい自然環境・気候 3. いい仕事がない 5. 沖縄が嫌いだから 7. 母国の家族と暮らしたい 8. その他 () 	<ol style="list-style-type: none"> 2. 友達など親しい人がいない 4. 人となじめない 6. 家族や子育ての環境を考えて
<ol style="list-style-type: none"> 1. 住みにくい自然環境・気候 3. いい仕事がない 5. 沖縄が嫌いだから 7. 母国の家族と暮らしたい 8. その他 () 	<ol style="list-style-type: none"> 2. 友達など親しい人がいない 4. 人となじめない 6. 家族や子育ての環境を考えて 			

Q24	あなたは ^{おきなわけん} 沖縄県に住むひと りとして、どんな ^{しゃかい} 社会をつく ていきたいですか？	
Q25	おきなわ ^{ひと} ^{つた} 沖縄の人に伝えたいことは ^{なん} 何ですか？	